

News Release

平成 30 年 5 月 31 日

株式会社北陸銀行

株式会社日本政策投資銀行

ほくほく応援ファンドによる よろづや観光（株）への投資実行について

- 第 1 号案件の実行 -

株式会社北陸銀行（本社：富山県富山市、代表取締役頭取：庵栄伸、以下「北陸銀行」という。）および株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柳正憲、以下「DBJ」という。）が共同出資するほくほく応援ファンド投資事業有限責任組合（以下「当ファンド」という。）は、よろづや観光株式会社（本社：石川県加賀市、代表取締役：萬谷浩幸、以下「当社」という。）に対し、優先株式の引き受け（メザニンファイナンス^{（注）}）を実施しました。

当ファンドは、北陸銀行と DBJ がそれぞれのネットワークや知見を活かし、優先株式や資本性劣後ローン等の金融サービスを組み合わせながら、地域企業の成長や地域経済の活性化に向けた財務再構築・資本増強等を目的に平成 30 年 1 月に設立され、本件が第 1 号案件への投資実行となります。

当社は、開湯から 1300 年の歴史を有する石川県加賀市の山代温泉において、温泉旅館「瑠璃光」・「葉渡莉」の 2 館を経営しており、高品質な温泉旅館としての伝統を受け継ぎつつも、「おもてなしは個性だ」「温泉エンターテイメント」をコンセプトに掲げ、ライフスタイルの変化やグローバル化・インバウンド需要に対応した新しい温泉の楽しみ方の提案に取り組んでいます。

本件は、北陸新幹線開業を追い風として新たな観光魅力の創出に取り組む温泉旅館の財務基盤強化や、それを支える従業員の働き方改革を支援するものであり、地域の経済活性化および雇用維持が期待される等、地方創生に寄与する投資と認められることから、当ファンドを通じ、優先株式の引き受けを行うものです。

（注）「メザニンファイナンス」：メザニンとは「中二階」を意味します。企業の資本と負債の中間的性質を有するファイナンスであり、劣後ローン、優先株式等の形態をとり、株式（議決権）の希薄化を回避して資本性資金を調達することが可能となります。

【お問い合わせ先】

北陸銀行	金融サービス部（松原、久保）	電話番号	0 7 6 - 4 2 3 - 7 5 0 2
日本政策投資銀行	北陸支店（石川、岡本）	電話番号	0 7 6 - 2 2 1 - 9 8 7 5
日本政策投資銀行	富山事務所（石倉）	電話番号	0 7 6 - 4 4 2 - 4 7 1 1